

NPO 法人松山子ども劇場 2 1 第 114 回舞台鑑賞例会

# やもじろうとはりきち

くわえ・ぱぺつとステージ

アンケートまとめ集



同時上演 「ゆらゆら」



日時 2021年12月12日(日)

開演 14:00～ (上演時間 45分)

会場 コムズ 5階 大会議室

参加者 100人

会員 54 会員チケットでのお誘い 8 一般チケット (おとな 19 子ども 19)

会員参加率 57.6%

\*県の文化芸術鑑賞等促進事業(文化鑑賞)に登録し、愛顔の文化鑑賞券が利用できた。

### 【みんなの感想】

☆おもしろかったよ。 だいすきだよ。 またあいたいな。(会員・年中女子)

☆親子で泣きました。(会員・小4女子)

☆やもじろうとはりきちのとげにイタタターってなったのがおもしろかった。  
逃げずにいっしょにあそんだらいいのに、とおもいました。(会員・年少男子)

☆くわえさんがいろんな声が出せるのがすごいと思いました。  
最後のシャボン玉のトリック、自分もしてみたいと思いました。(会員・中3女子)

☆はりきちがヘディングしたところがおもしろかった。シャボン玉のトリックがすごいなあと思いました。(会員・小4女子)

☆えほんはちょっとつづきがなかった。  
しゃぼん玉のしかけがおもしろかったです。(会員・中3男子)

☆おもしろかったです。ヤモジロウトハリキチがけんかしたところがうけました。  
でもすこしかなしかったです。(一般・子ども)

☆ありがとお (一般・子ども)

おもしろかったです。  
ヤモジロウトハリキチが  
けんかしたところがうけま  
した。すこしかなかったです。

なまえ (かなめ)



## 【みんなの感想】

☆胸がチクチク痛む(>▽<) 友だちがあそんでくれなくなったときを思いだして  
胸がチクチクしました。(会員・大人)

☆なんでにげるの?っておもった。はりきちかわいそう。  
最後はなかよくなってよかった。(会員・大人)

☆おとなの世界にもやもじろうやはりきちはいて、チクッと痛い心やぬくもり…  
それに何だか人恋しい思いを抱いて帰りました。(会員・大人)

☆一人で全部の人形をいきいきと動かしているのがすごいなあ～と思いました。  
絵本の世界だけど、今の大人にも通じるところがいっぱいありました。  
つげさんのパワーをもらって元気ができました。  
ありがとうございました！(会員・大人)

☆以前、「きみがしらないひみつの三人 (編集注：2021年7月例会)」をみて、  
とても感動し、今回も応募してみました。かわいいパペット達とノリノリの  
つげくわえさんと、そのステキな声に、大人も子どもも大笑いで楽しい時間  
でした。「ゆらゆら」もかわいくて、心が温かくなりました。ありがとうございました。(一般・大人)



## ブロックのまとめ

北鴨川ブロック 川原きみよ

2021年最後の例会でした。コロナも落ち着きを見せ、制限も少しずつ緩和されてきました。が、子ども劇場はいつも通り除菌・消毒をしっかり実施しての会場作り。検温・密を避けての開場。

人形劇が始まると、みんな人形達に釘付け。仲良しで楽しい場面。ちょっと淋しくなる場面。やもじろうが大好きなはりきちの行動は、やもじろうの心だけでなく会場みんなの心も温かくしてくれました。劇団のつげさんは1人で何役もこなします。やもじろうの元気な声。はりきちの優しい声。お友達のネズミくん・かえるくんの声。

終演後、子どもスタッフがつげさんに尋ねます。『どーやったらあんなに早く声を変えられるんですか？』『お母さんがあなたを怒ってる時に電話がかかってくるなら、よそ行きの声になるやろ』とのお答え。一同納得。

ものすごくよくわかる例えに笑いが起こります。つげさんとの交流も楽しむことができました。



\*小町ブロックTさん作成のカラフルな折り紙サンタさんが、スタッフの胸元を飾りました。

おとな会員6人の小町ブロックですが、北・鴨川ブロックと今回よりスタートした**例会子どもスタッフ**と力を合わせて取り組みました。

まずは所属ブロック以外の子どもの名前を知らない場合があるので、子どもスタッフ用の名札を作ってもらいました。次にプレゼント。プレゼント係希望の子どもたちが何人いるか把握できないので、10個は用意しておこう！と家庭にあるお菓子・果物・ビールを持ち寄って可愛くラッピング。それをまとめる**やもじろうとはりきち**の大袋も手作り。バラシが終わったあと、つげさんが大切そうに、中のプレゼントをだして大袋をたたんでおられるのを見て「よかった！」と思いました。

会場整理はなかなか難しいものがありました。会員以外にチケットで来られる一般の方が20組。敷けた銀マットは18枚。つげさんからは打合せの時に、前列はおとながくると後ろの方が見づらくなるので、子どもだけにしてほしいという注文。まずは子どもスタッフを前列において、ひとりで座れる子どもを聞いて座ってもらって…。もうすぐ開演、久々に満席！になったところにやって来る小さな子どものいる家族たち！どこに入ってもらおう？この時点で3密回避は無理な状態になりました。そんなことから、平土間の場合、前列の銀マットは島にするのではなく、長〜く広げて子どもの間隔をあけて座ってもらうことを考えたらよいのではと思いました。

はねだち（公演を終えてすぐ帰る）のつげさん。JRの時間が許せるかぎり、エレベーター前でお話してくださいました。「どうして何種類もの声が出せるんですか？」という間に「おかあさんの声は、最低3つは違った声をだせるんよ。普通の声。怒った声。怒っている途中で急に電話がかかってきた時に電話にでる声。」その答えにおかあさんも子どもたちも納得していました。

今回の例会でおとな会員ばかりの小町ブロックに1家族入会がありました。いづれ例会子どもスタッフで活躍してもらえたらいいなあ〜と思っています。



## 違いは個性 ～認め合える社会へ

コロナも落ち着き万全の態勢で臨んだ第114回例会。  
今回から子どもスタッフという新しい取り組みをはじめました。  
今までは担当のブロックの子どもたちが役割分担していましたが、ブロックの垣根を越えて、子どもたちの自主性を大切にし、準備等を行いました。

開演の時間になりワクワクする中つげくわえさんが登場しました。  
同時上映のゆらゆらが始まります。  
ゆらゆら揺れるハンモックに中々乗れなくて、次はどんな方法で挑戦するのかな、うまくいくかなとドキドキする作品でした。

心をバッチリつかまれていよいよやもじろうとはりきちが始まります。  
やもりのやもじろうとハリネズミのはりきちを主に物語は動き始めます。  
赤ちゃんの頃から仲良しのやもじろうとはりきち、ふたり仲良く遊んでいた日々。  
しかし徐々にはりきちから心が離れていくやもじろう。  
コミカルでテンポよく楽しそうな場面から一転し、イライラするやもじろうと穏やかで少し悲しそうなはりきち。  
この先どうなるのかハラハラし、はりきちの純真に友を思いやる心に、涙を止めることができませんでした。  
これから成長するにつれて楽しいこと辛いこと、山あり谷あり色んなことに出会うであろう子どもたち。  
そんな時にこのやもじろうとはりきちが、ひょっこり心の中にでてきますように！



## 例会アフタートーク まとめ

舞台鑑賞事業部 小浦 薫

12月19日(日) 10:00～11:30

場所：教育会館1階 和室と会議室

参加者：子ども7人、大人7人

今回のアフタートークは大人と子どもで部屋を分けて実施しました。

大人の部は西上寛樹さんの講演会をアーカイブ視聴し意見交換をしたり、例会の感想や子どもの様子などを話したりしました。

子どもの部では新入会のKちゃんの参加もあり、好きな季節を聞きながらみんなで自己紹介をしました。例会の感想(やもじろうやはりきち、劇団さんへのメッセージなど)や例会でスタッフをして感じたことなどを1人ずつ付箋に書き、模造紙に貼ってみんなで共有していきました。原作の絵本を中学生のYちゃんに読んでもらくと、絵本では仲良くなって終わりだったけど、人形劇では仲良くなった後の続きが描かれていて良かったという感想もあり、「やもじろうとはりきち」を通して共通の時間を過ごし、想いを共有することができました。

県内のコロナの状況も落ち着いていた時期で、対面でのアフタートークを2年ぶりに実施することができました。

当番ブロックに関係無く子どもたちの集まる場を作ろうと始めた"子どもスタッフ"の活動が例会当日とアフタートークで集まることができました。子どもからの"また次もやりたい!"の気持ちを感じることができ嬉しく思いました。

